

2006 年度

科目名 日本文学史 I	対象学科・学年 文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生	担当者 乾 澄子
授業テーマ 古典文学史の基礎		
授業の概要と目標 中学校・高等学校の国語（古典）を教えるにあたって、基本的に知っていて欲しい作品とその意味、また文学作品の背景となる政治、社会制度や風俗習慣などについて解説する。具体的な作品としては、中学校・高等学校の国語の教科書に取り上げられる『竹取物語』『源氏物語』といった物語文学、『万葉』『古今』『新古今』といった和歌文学、『枕草子』『徒然草』といった随筆他を扱う。		
評価方法 出席状況、授業の最後に課すまとめなどの提出物、試験を総合して評価		
テキスト 必要に応じてプリントの配布	著者	出版社
参考書 授業時に適宜紹介	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 ガイダンス 2 上代文学について時代背景など解説 『古事記』『日本書紀』 3 『万葉集』を読む 4 中古文学について時代背景、王朝文化の基礎知識などについて解説 『古今和歌集』を読む 5 『竹取物語』を読む 6 『伊勢物語』を読む 7 『枕草子』を読む 8 『源氏物語』を読む（1） 9 『源氏物語』を読む（2） 10 中世文学について時代背景、文学ジャンルの広がりなどについて解説 11 『新古今和歌集』を読む 12 『方丈記』『徒然草』を読む 13 近世文学について時代背景、文学の担い手、享受者層の変化などについて解説 14 西鶴・芭蕉・近松について 15 試験		